

環境設計セミナーについて

1 1月6日のセミナーでは、下記の通り行いたいと思います。

1. 企業人のためのエコマインド醸成講座 13:00～13:50

使用教材：パワーポイント投影資料

企業人として知っておくべきエコの考え方を学びます。
一見、環境設計とは関係なさそうに感じるかもしれませんが、実務にあたって必須の知識です。
エコ検定を単なる知識に終わらせないために行うものですので、なにとぞご了承ください。

2. 環境設計を効果的に進めるために 14:00～14:50

使用教材：パワーポイント投影資料

環境設計に必要な基本的概念を学びます。特に資源生産性を向上させるためのアイデアをお伝えします。

3. タイプⅡエコラベルについて 15:00～15:40

使用教材：パワーポイント投影資料

平成20年1月に環境省が策定・公表した「環境表示ガイドライン」（平成21年11月改訂）について学びます。
環境表示方法に関する統一的な考え方やルールを知ることが目的としています。

4. 製品の環境適合性評価シート作成および発表 15:40～17:00

添付の環境適合性評価シートを作成していただきます。

【課題】

受講者の担当製品を1～3点選び、シート①のレーダーチャートを完成させます。担当商品ごとのグループに分けていただくことが理想ですが、商品によっては1人の単位でも結構です。

その後、①の結果に基づきシート②に必要事項を記入します。

最後に、グループごとに成果を発表していただきます。

■ 製品の環境適合性評価シート①

7. その他

①環境貢献性

②機能向上

③操作性・保守性配慮

④環境に関するアピールできる
環境取り組み)

6. 情報提供

①リサイクル情報提供

②環境保全情報提供

@新しいコンセプトの開発

- ・ 脱物質化
- ・ 製品の共同利用
- ・ 機能の統合
- ・ 製品（構成部品）機能の最適化

1. リデュース（省資源化）

①製品の小型化・軽量化

②省資源（部品点数の削減）

③消耗品、保守用部品の削減

④長期使用性（長寿命化）

⑤標準化

2. リサイクル（再資源化）

①再資源化の可能性

②材料統一

③再資源化の促進（複合材料削減）

5. 省エネルギー（消費電力低減）

①動作時消費電力の削減

②待機時消費電力の削減

③二事費削減

4. 安全性（有害性・有毒性）

①社内使用禁止物質の使用

②管理対象物質の削減

③新規使用物質の適正使用

3. リユース（再使用化）

①分解容易性

②部品の材料分別

③合成樹脂製品等の材質名表示

注意：新しいコンセプトの開発は、他の7つの戦略よりもはるかに革新的なものであるため、@というシンボルで示している。

■ 新製品におけるプライオリティ

■ 既存製品

■ 目標達成時期： _____

..... : 現時点の評価
 _____ : 目標レベル

【製品の環境適合性評価表】

評価項目		現状	目標
1	リデュース(省資源化)		
	① 製品の小型化・軽量化		
	② 省資源(部品点数の削減)		
	③ 消耗品、保守用部品の削減		
	④ 長期使用性(長寿命化)		
2	リサイクル(再資源化)		
	① 再資源化の可能性		
	② 材料統一		
3	リユース(再使用化)		
	① 分解容易性		
	② 部品の材料分別		

評価項目		現状	目標
4	安全性(有害性・有毒性)		
	① 社内使用禁止物質の使用		
	② 管理対象物質の削減		
5	省エネルギー(消費電力低減)		
	① 動作時消費電力の削減		
	② 待機時消費電力の削減		
6	情報提供		
	① リサイクル情報提供		
7	その他		
	① 環境貢献性		
	② 機能向上		
	③ 操作性・保守性配慮		

評価対象製品名： _____

【製品の環境適合性評価シート②】

商品名				
目標達成時期				
目標レベルまで何が足りないか				
何をすれば目標レベルに到達できるか				
作成者氏名			作成日	